



世田谷稲門会会報

ホームページURL : <https://w-setagaya.tokyo/>

令和4(2022)年12月16日
第 81 号
 発行人 世田谷稲門会 正勝一子
 発行人集 世田谷稲門会 正勝一子
 編 集 山多美 信秀 昭俊
 兼 山子内 林 巢
 大若 鷺
 事務局 〒157-0062
 世田谷区南鳥山 5-4-10-4F
 TEL/FAX 03-5384-2435
 戸田 昇(とだ のぼる)

令和五年新春懇親会

マグナム小林氏を迎えて
 2月4日(土)11時から
 銀座ライオンにて

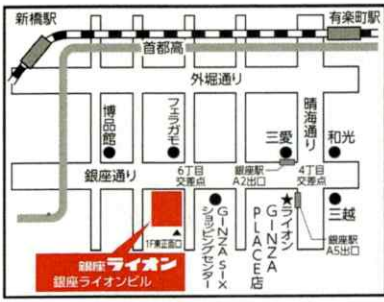


新春懇親会は2月4日(土)11時~14時の開催で、銀座7丁目にある銀座ライオンビル6階の「クラシックホール」で開催します。

東京メトロ銀座駅、都営地下鉄東銀座駅から徒歩5分、新橋駅から徒歩10分です。

今回の公演はマグナム小林さんのバイオリン漫談をお楽しみください。昨年の新春懇親会で出演予定をお願いしておりましたが、コロナ禍で中止となっていました。

各自マスク着用の上、新型コロナウイルス感染症対策をして参加しましょう。多くの方のお越しをお待ちしています。会費は8000円です。



1971年千葉市生まれ
 1994年早稲田大学社会学部卒業、在学中寄席演芸研究会に在籍
 同年8月落語家立川談志門下入門、芸名・立川小談林
 2000年立川談志門下を退門



「マグナム小林」

以降、バイオリンエンターテイナー・「マグナム小林」となる。世界で数人しかいないタップダンスを踊りながらのバイオリン演奏をはじめ、バイオリンによる擬音、声真似、昔懐かしい大正演歌、謎かけなど多才な芸でお客様の御機嫌を伺う。

現在、落語芸術協会(会長・春風亭昇太)の準会員として、新宿末広亭、浅草演芸ホールなどの都内寄席に年間200日以上出演。

趣味は野球、競馬、プロレス、相撲観戦。鉄道ファン。

2022年度 会員増強活動中間報告

昨年度はコロナ禍の為、会員増強キャンペーンを延期しておりましたが、今年度は実施することになりました。世田谷区在住の早稲田OBは約1万名と推定されており、まずは早稲田大学校友会に依頼して世田谷区在住で校友会Wasedaメールアドレス保有者の25~70歳までの3606名の方々に代理送信による入会案内メールを6月6日(月)に送信しました。

① 入会：11名(内1名は校友メールによる入会)

② 入会手続中：1名

③ 将来入会したい、入会を希望します：40名(各ブロック会でフォロー)

④ 興味があるので資料を送って下さい：14名(各ブロック会でフォロー)

⑤ 入会しません：15名(55~70歳で項目追加)

校友会費納入者リストを大学から受領、6月16日(木)に41~70歳の642名に入会案内状と世田谷稲門会紹介チラシを郵送しました。また、追加として71~75歳の93名に対し、8月6日(土)に新たに入会案内状と紹介チラシを郵送しました。

Wasedaメールアドレスの代理送信による勧誘は、返信が来たのが3606通中2通で回答率が極端に悪く、アドレスを使用していないか迷惑メールに位置付けられ廃棄された可能性があるようです。

しかし、回答状況が鈍かったため、改めて対象者を55~70歳に絞り、未回答者430名に対し再度の勧誘状を9月2日(金)に郵送しました。

今後は③④の回答をいただいた方へのフォローを各ブロック会で行うことで、引き続き会員増強活動が続ける予定です。

10月20日(木)現在における回答状況を報告します

お知り合いの方で未入会の方がおられましたら、積極的に勧誘をお願いいたします。

(富塚 兆彌/記)

30周年記念祝賀会

令和4年11月12日(土) 11時30分から新宿の京王プラザホテル南館「錦の間」にて129名が参加して30周年記念祝賀会が執り行われました。令和2年から発生した新型コロナウイルス感染症のため稲門会としての多くの活動が制限されてきました。ようやく第7波が下火になり、第8波の兆しが見えだしてきたタイミングでの開催となりましたが、マスク着用などのコロナ対策をとりながらの開催となりました。



挨拶する旭会長



司会の露木顧問



挨拶する萬代代表幹事



宴会風景①



挨拶する喜久里氏

10時半から受付横でレディースクラブ・地域サポート活動部会主催のバザーが開催されました。2019年の新春懇親会以来、約3年ぶりに、バザーを開くことができました。皆様からは沢山の寄付品をご提供いただき、また、玉川会の井澤美知恵さんからは、日頃より創りためた手づくりの美しいポーチ類が多種類届きました。

当日の販売も順調で、売上額は79,120円、寄付金が4,900円となりました。深く御礼申し上げます。

売上げはすべて、地域サポート活動部会でまとめ、生きづらさを抱える子どもたちへの寄付とさせていただきます。



バザー会場

また、写真部会主催で部員の写真展示が会場内で行われました。

ご来賓としては、萬代晃早稲田大学校友会代表幹事、喜久里要東京23区地域コーディネーター、金森捷三郎東京23区支部長、三宅茂樹三田会会長ならびに横山事務局長にご参加いただき、また近隣稲門会からは大田区、品川区、渋谷区、杉並区、港区、目黒区、中野区、狛江市から多くの皆さんにご参加いただきました。

司会は20周年記念祝賀会に引き続き、今回も露木茂顧問にお願ひしました。まずは旭正勝世田谷稲門会会長の挨拶から始まりました。続いて萬代代表幹事、喜久里地域コーディネーターからご祝辞と早稲田大学の現状についてのご説明をいただきました。金森支部長、三宅三田会会長からもご祝辞をいただきました。



写真部会展示



乾杯の音頭を取る横田顧問

乾杯の音頭は前会長である横田吉明顧問にとつていただきました。1992年に創立され30周年を迎え、祝賀会にご参加の皆さんは感慨ひとしおの様子でした。引き続き懇親会が始まりました。コロナ対策のため着席で個人ごとの配膳での進行となりました。

第4代会長の土倉享一顧問から世田谷稲門会創立時の秘話などをご披露いただきました。



宴会風景②

宴たけなわ、早稲田大学応援部・吹奏楽団による演奏が披露されました。多くのレパトリーを持つ吹奏楽団ですが、「パプリカ」や「さくらうた」など数曲を演奏していただきました。続いて応援部リーダーとチアリーダーズにより「紺碧の空」「早稲田の栄光」など応援歌のメドレー披露があり、会場が一体となって盛り上がりました。チアリーダーズも

華やかさを添えていただきました。



吹奏楽団による演奏



閉会挨拶する國澤幹事長

閉会の挨拶は國澤幹事長にお願いしました。フィナーレは全員での校歌斉唱（マスク着用で）と応援部によるエールで締めくくりました。



校歌斉唱①



応援部



校歌斉唱②

（バザー記事 井上文）
（記事・写真 榎並俊二）

会員名簿の発行について

会員増強活動を実施中のため1年延期して、2023年4月に会員名簿の改訂版を発行する予定です。掲載項目は 氏名、卒業学部、卒業年、所属ブロック会、自宅住所、自宅または携帯電話番号、同FAX番号、メールアドレスです。

このうち不掲載を希望する項目がある方は2023年1月31日(火)までに下記へお申し出ください。

〒157-0062 世田谷区南烏山5-4-10-4F
世田谷稲門会事務局 戸田 昇
TEL/FAX : 03-5384-2435
E-mail : toda-f@viola.ocn.ne.jp

寄付御礼

10月23日(日)に開催された稲門祭は縮小開催となりましたが、皆様にお願した「稲門祭記念品」の販売額が**262,000円**になりました。あわせて、奨学金として**203,000円**のご寄付をいただき、合計で**465,000円**を「校友会奨学金」として寄付いたしました。皆様の多大なるご協力に感謝いたします。

世田谷稲門会事務局：戸田 昇

校友会年会費納入のお願い

皆様のご協力により、世田谷稲門会は早稲田大学校友会年会費納入率が高く、補助金も多く支給されています。

ほとんどの方が毎年納入いただいていると思いますが、失念して未納の方は納入をよろしく願いいたします。

世田谷稲門会事務局：戸田 昇

新入会員紹介 (2022年入会)



坂本 克己 (1976(昭51)政経)

12月に古希を迎える老骨の新参者です。昭和51年に政経を卒業し、日本放送協会の記者として半生を過ごして来ました。現役時代は転勤族で各地を放浪し、今は世田谷区に落ち着きましたので、稲門会に入会させて頂きました。早稲田で学んだ反骨精神が人生の礎です。皆さんと早稲田の今と未来を語り合える機会を楽しみにしています。

小野 興 (2022(令04)政経)

学生時代は応援部に所属し、その関係のご紹介で入会しました。右も左もわからぬ新社会人の為、皆様からご指導賜れたら幸甚です。今後とも宜しくお願いします。



永井晋一郎 (1981(昭56)法)

新宿生まれ、杉並育ちで平成19年春世田谷区民となった新参者です。仕事は金融機関、主にファンド関係です。現在はコンサルティング会社を経営しております。趣味はゴルフ、ドライブなどです。よろしくお願いいたします。

宮森 洋 (1984(昭59)政経)

2003年から世田谷区の砧に住み2006年に玉川に移りましたが、その後ロンドン、バルセロナ、シカゴと十数年間海外勤務となり、昨年帰国いたしました。二子玉川の変わりように驚きつつ、日本の生活に慣れるべくリハビリ中です。



川口 達也 (2012(平24)商)

祖父の代から八幡山で小売酒屋を営んでいます(今は配達のみ)。仕事は公認会計士でありつつ、フルリモートで山形県酒田市の楯の川酒造に勤めています。ご興味ある方は「日本酒 会計士」で検索してください。

安島 政実 (1970(昭45)法)

70年法学部。商社時代希少資源求め世界を探索。80年代NY駐在。加ボンバルディアRV社創立。仏ラファージュSH社代表。元マルマン(株)CEO。杉原千敏NPO「命のピザ」後援。140周年オペラ「人道の桜」制作アドバイザー。宜しくお願い申し上げます。



橋詰 大慶 (1996(平08)人科)

高齢者支援の仕事をやりたくて、7年前に会社を辞めて下北沢で訪問鍼灸マッサージ治療院の経営を始めました。ボランティアで地元の高齢者向けの体操教室や民生委員もやらせて頂いています。よろしくお願い致します。

小野 浩平 (1988(昭63)商)

ゼミは財政学、サークルはテニスやスキーなど、総合商社入社以来、消費財関連に関わり、主に欧米での海外経験があり、現在は出向先子会社の社長8年目です。故郷を離れた時期もありましたし、風景も変わっていますが、生まれ育った烏山近辺は、自然や歴史もあり、大好きで落ち着きます。皆さまとの交流を通じて、自己や世の中を見つめ直せる機会をととても楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。



高森 俊彦 (2000(平12)法研)

思い出の先生方



ローマ法の佐藤先生と阪大の林先生は酒飲み仲間です。その関係で早大と阪大間で交換セミナーを企画しました。林先生が、実はな、と言って話してくれた逸話がありました。佐藤先生と大阪のなじみの居酒屋に行った際に、先生が、おやじ、この店の一番良いものを出してくれといきなり言ったそうです。林先生もさすがにこの関東人の豪快さには驚いたみたいです。

河原 仁志 (1982(昭57)商)

大学の隣の早稲田高校を出て、慶大文学部経由で早稲田の商学部に入り1982年に卒業しました。共同通信の記者を経て2020年から新聞通信調査会という公益法人に勤務する一方、物書きを続けています。取材対象は沖縄、世相、未解決事件、ボクシングなど。愛校心は中の下ですが、よろしくお願ひします。

**齊藤洋一郎 (2008(平20)大学院)**

私は、他大学(旧武蔵工業大学)を平成3年に卒業し、不動産会社で現役のサラリーマンをしております。社内就学規定を利用し、平成20年に早稲田大学大学院ファイナンス研究科を修了致しました。どうぞ宜しくお願いいたします。

**徳住あつし (1982(昭57)法)**

徳住(トクズミ)あつしと申します。1982年法学部卒、積水ハウス(株)入社、現在グループ会社勤務、来年6月定年退職予定です。入社後は茨城県水戸市→つくば市→栃木県宇都宮市→2020年新宿に転勤し、現在世田谷区在住です。よろしくお願ひ申し上げます。

**河上 保 (1977(昭52)理工)**

1977年機械工学科を卒業し、総合電機メーカーで電力会社の火力発電設備に関わる営業として45年間仕事をしてまいりました。今年度で退職を予定しており、次の人生何をやるかと考えていたところ、世田谷稲門会からお誘いがありまして入会させて頂きました。これを機会に交遊を広めたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

**竹内 英之 (1985(昭60)商)**

自由になる時間が増え、いろいろな方のお話を伺いたく参加させていただきました。鳥山で生まれ育ち、今は三鷹市北野に住んでいます。どうぞ宜しくお願いいたします。

**徳野 良 (1988(昭63)商)**

大阪府豊中市出身。大学入学までずっと大阪で育ちました。しかし野球は巨人でございます(長嶋ファンでもあります)。大学卒業後はサラリーマン一筋、通勤族であります。現在の勤務地は横浜で定年はこの地で迎えそうだなと思うこの頃であります。宜しくお願いいたします。

**大坪美弥子 (1992(平04)社学)**

今の世の中、なかなか新たな輪のきっかけがない中、縁がありましてこの度世田谷稲門会に入会致しました、今度はどんな“輪”が広がるのかな、とこれからの沢山の素敵な出会いにワクワクしています。



=母校の今=(第40回)

【第17代早稲田大学総長に田中前総長が就任 (再任)】



田中愛治・第16代早稲田大学総長の任期満了(2022年9月20日)に伴う次期総長決定選挙が去る6月16日に実施された。結果、田中前総長が当選、既に再任が決定していたが、このほど正式に第17代総長に就任(9月21日付け)した。任期は2022年9月21日から2026年9月20日までの4年間となる。

【総長決定選挙の結果】

- ◎田中愛治(早稲田大学総長).....1,864票
- ◎菅野重樹(早稲田大学理工学術院長、理工学術院教授).....1,072票
- ◎藁谷友紀(早稲田大学 教育・総合科学学術院教授).....597票
- 得票総数.....3,533票

第17代総長に就任した田中愛治氏は、1975年早稲田大学政経学部を卒業。1985年オハイオ州立大学大学院政治学研究科博士課程を修了しPh.D(政治学)を取得。東洋英和女学院大学助教授、青山学院大学教授、早稲田大学政経学術院教授などを経て、2006年から早稲田大学教務部長、理事(教務部門総括)、グローバルエデュケーションセンター所長を歴任、2018年より現職。文部科学省中央教育審議会委員、日本学術振興会委員、International Political Science Association 会長、日本私立大学連盟

会長、日本私立大学団体連合会会長等を務める。

主な著書…『熟議の効用、熟慮の効果』(編著)2018年・勁草書房刊、『政治学』(共著)2003年・有斐閣刊など。

《再選された田中愛治第17代総長のコメント》

この度、数多くの皆様に信任していただいたことを大変うれしく感じております。過去3年半の間、コロナ禍にもかかわらず、かなり改革が進んだと自分では感じております。実現可能な夢に向かって進むという覚悟です。

Vision150の完成は10年後の2032年ですが、その先を視野に入れた早稲田大学の長期的な改革を今後4年間で軌道に乗せたいと思います。

早稲田大学を2040年には日本で最も学ぶ価値のある大学にすること、2050年にはアジアで最も進学したいと思われる大学にするという実現可能な夢に向かって進むという覚悟です。この目標の意味は、人類社会に最も貢献する人を育てる大学になるということです。早稲田大学は世界中から来るどの学生にとっても満足できる学修環境を作り上げていく所存です。(大内 秀行/記)

世田谷ぶらさんぽ

第12回

野川



二子玉川付近

世田谷区の南西側を国分寺から二子玉川まで流れる野川を紹介しよう。東急田園都市線二子玉川駅のホームから北側を眺めると、ちょうど目の前に左に多摩川、右に野川が見える。ホームの下が合流地点だ。今回は二子玉川駅から野川を遡上してみよう。

二子玉川駅から多摩堤通りを越えて多摩川の河原に降りてゆくと、広場や野球場がある。野球場を左に見ながら土手の遊歩道を歩くと、野川の両側が遊歩道になっており、よく整備されている。しばらく遊歩道を遡上すると鎌田あたりで右側から



野川公園内

仙川が合流してくる。さらに歩を進めると高速道路の工事で遊歩道が途切れる部分があるが、概ね川沿いに歩くことができる。左側が喜多見、右側が成城である。このあたりで世田谷区とはお別れし、調布市に入る。

野川の特徴は川中に自生する豊富な植物群だ。そのため程よく自然が保たれており多くの虫や魚や鳥たちが生息している。運が良ければ「アオサギ」などの大型の鳥にもお目にかかれる。柴崎近くで京王線の鉄橋をくぐるあたりから川中の土の部分が多くなってくる。1か所遊歩道が完全に途切れる部分があるので注意が必要だ。これから先は川中の小路を歩くこともできる部分があるが、川に落ちないよう、増水の危険があるときはやめておこう。



野川源流(日立中研の湧水)

調布を抜け、右手に国立天文台、左手に調布飛行場を見ながら、やがて野川公園に入る。公園内の野川はフラットでまさに小川である。さらに進むと武蔵野公園を過ぎて国分寺市街地に入る手前あたりで野川の左右の遊歩道がなくなり、野川自体も市街地の間を通る水路の様相を呈してくる。野川の源流はJR国分寺駅北側の日立中央研究所の庭園内の湧水とされているので、年2回(春・秋)の一般開放日以外は入ることができない。約18km、4時間程度の行程である。足に自信のある方は完歩を挑戦されてはいかがですか。



調布付近

(榎並 俊一/記)

ブロック会だより

けやき

秋季懇親会開催

けやき会は、2022年10月1日(土)の15時から17時まで、小田急線経堂駅近く西福寺通りに面した“カフェ&ダイニング素々(もともと)”を貸し切りにして秋季懇親会を開催しました。飲食付きの集会は3年ぶりになります。今回はまだ、本格的な懇親会にするには時期尚早との判断から、「食前酒を飲む会」という企画にし、時間も夕方、料理も簡単なもので実施しました

けやき会会員が19名、世田谷稲門会からは國澤幹事長、戸田事務局長、桃井ブロック会統括にご出席頂き合計22名の懇親会になりました。今回は2名の新入会員の出席もあり、歓迎会の意味合いもありました。最も若い会員は新入会員の2022年卒、最も高齢の会員は1954年卒ということでその差が68年でした。

今回も斎藤正憲さんの司会進行で、最初に井上代表から挨拶、旭世田谷稲門会会長からの挨拶と乾杯で会は始まりしました。出席者全員からの近況報告、世田谷稲門会およびけやき会の活動予定報告などで会は進み、最後は校歌斉唱、記念撮影で締めくくり、久々の懇親会は盛会のうちに終了しました。未確認ですが、食前酒だけでは焼け石に水ということで経堂の町に複数の会員が消えて行ったものと思われる。(花澤 隆/記)



西北

世話人・サポーター会

令和4年9月28日(水)、午後6時～8時、下北沢駅南口商店街の「つ串亭」において、標記「世話人・サポーター会」を8名で実施した。久しぶりの開催で美味しい酒と料理をつまみながら四方山話が続いていたが、その後本題に入り、西北会が企画担当する“来夏納涼会”について意見交換を実施した。桃井より現在までの仮決定事項(開催日2023. 8. 19(土) 15:00～17:00 銀座クラシックホール)の了承を得た後、本題のアトラクションについて検討した。いくつかのアイデアが出され、各々について喧々譁々検討を加えたが最終決定とはならず今後継続検討することとした。(桃井 清治/記)



千歳

新入会員との顔合わせ会

千歳会は2022年の新入会員と世話人との顔合わせ会を、10月2日(日)正午から千歳烏山駅近くの「魚料理『八総本店』」にて開催しました。

2022年に入会した5名全員が出席予定でしたが、1名が都合で欠席となり、新入会員4名と世話人5名の9名での顔合わせ会となりました。自己紹介から始まり、住居が近いことで出身小学校や中学校のことも、昔の街の思い出、年齢が近い人同士の学生時代の話など、話題は尽きませんでした。趣味の話の中から部会や同好会の紹介も行い、入会を決めた方もいました。

少人数でしたが、コロナ禍で食事を伴う集会は3年ぶりのことです。やはりオンラインより実際に顔を合わせた懇親会がいいですね。(戸田 昇/記)



キャロット

8月21日(日)正午から三軒茶屋26階のレストラン「スカイキャロット」に於いてキャロット会世話人4名(青木明彦、萩原健、濱野千鶴子、富塚兆彌)と昨年3月世田谷稲門会に入会した森山健太さん、入会を検討中の大坪美弥子さん(入会済み)、石谷啓造さん(ブロックは玉川会)7名でセレクトランチセット(中華料理)とビール等を戴きながら和やかに懇親会を開催致しました。ダンディな青木明彦さんの話、萩原健さんから新型コロナウイルスに感染し123日間(入院+リハビリテーション)の闘病経験の話等、話題は尽きず午後2時30分に散会しました。(富塚 兆彌/記)



特別部会だより

青年

青会は、8月31日(水)に新宿ライオン会館で例会を行いました。コロナ禍のため例会を中止していましたが、ようやく

2年10箇月ぶりに例会を開催することが出来ました。

当日は、23名もの多数の出席者があり、初参加者は7名に上りました。嬉しいことに20代、30代前半の若い世代も数名参加してくれました。大手資産運用会社の最高投資責任者を歴任された方、理工学部卒で芸人として芸能界で活動をされている方、これから政治の道にチャレンジする方も加わり、今回の例会は、いつもにも増して多様な会員による活発な交流の場となりました。参加者は、久しぶりの(または、初めての)例会を大いに楽しみ、盛会となりました。最後は、初参加の応援部若手0Bのリードで、皆で小声で校歌を歌って、散会しました。(中島 史郎/記)



レディースクラブ・地域サポート活動部会

P2をご参照ください。

趣味の部会だより

ゴルフ

第112回コンペ開催(都留CC)

2022年10月13日(木)、曇天の中、山梨の都留カントリー倶楽部にて21名が参加して開催されました。幸い雨に降られることもなく、気持ちよくラウンドすることができました。

優勝は鈴木晴夫さんで49:42=91、ハンデ24、NET67の5アンダーでのぶっちぎり優勝でした。準優勝は小林宏さん、3位は榎並俊一でした。

グランドシニア優勝は宮坂尚利さん、シニア優勝は斎藤正憲さんでした。レディスは参加者がおりませんでした。ベストは小林宏さんの42:40=82でした。

プレー終了後は表彰式を開催し、シャトレゼのケーキ食べ放題とドリンクにて健闘をたたえ合いました。次回(第113回)は11/29(火)に桜ヶ丘CCで開催されますが、本会報が発行される頃には終了しておりますので、結果はホームページにてご確認ください。



左から宮坂、鈴木、斎藤

(榎並 俊一/記)

食べ歩き

9月27日(火)、第87回の食べ歩き部会を開催。今回の開催は神楽坂のフランス料理店「ラリアンス」。87回に及ぶ食事会で、こちらの利用は数回に及びますが、複数会員からリピート希望が寄せられる人気の会場です。天井高15メートルの会場は換気もバッチリ。一工夫された料理に舌鼓を打ちました。

今回から新しく入会する参加者もおられ、ご挨拶を頂きました。小倉実さん(S50理工)は大学公認の「料飲(リョウイン)稲門会」の事務局長を務めており、農業・漁業などに携わる生産者から製造・流通・小売り・飲食店関係者まで300人を超える活動を行われているとのご紹介がありました。松尾翰子さん(S44一文)は編集者として精力的に活動をされており「同窓のご縁でかねて参加したかった会に加われて嬉しい」とのお話を頂きました。多彩な方に加わって頂き、益々盛り上がっていく食べ歩き部会です。

(森山 健太/記)



釣り

オミクロン株の第7波が収まり始めた9月15日に会員5名で浦賀の前田丸から大型アジ釣りに出かけました。釣り場は近くを大型船が行き来する浦賀沖。水深45メートルの底から2~3メートルにいるアジを狙います。浦賀水道は潮の流れが速くまた朝方は風や波もあり最初は棚取りに戸惑いましたが慣れるにつれ30~40センチの大型アジを順調に釣り上げることができました。

常連の成田秀久さんは最初から順調に釣果を重ね終わりころには良型の黒鯛まで釣り上げさすがベテランの腕を発揮していました。新鮮なアジは翌日、なめろう、たたき、アジフライなどで食卓を賑わせてくれました。

10月、11月は絶好な釣りシーズン。タチウオ、カワハギ、ハゼ釣りに出かけます。年末には対面での忘年会を開催します。

(寺島 邦夫/記)



釣行した5名と船宿の前で

俳句

令和4年6月の句会は兼題「金魚」、7月の句会は兼題「熱帯夜」、8月の句会は兼題「踊」、9月の句会は兼題「月」でした。6月は句会、7月から9月はメールによる通信句会で兼題句1句と当期雑詠2句を持ち寄りました。高得点句を掲載します。

(富塚 兆彌/記)

金魚玉軒に危うき小宇宙	利水(江原利次)	山笠が立てば博多は男酒	二丁目(暮田忠雄)
炎天や砂利採りて裏山尖る	広(矢後勝洋)	風を待つ仰向けの猫熱帯夜	兆彌(富塚兆彌)
熱帯夜止まぬ愚痴にも耐へてをり	勝(田中 勝)	子の去りて広き座敷や秋団扇	牧羊(津島晃一)
豆茹でる厨に遠き踊歌	雪子(家井雪子)	新涼や歩幅ひろがる朝歩き	もる(松尾 守)
日中から杯を重ねて宵の月	恵那(榎並俊一)		

2005年の第一回さくら句会から参加しておられた暮田忠雄(俳号:二丁目)さんが去る10月3日逝去されました。
行年85歳。暮田さんのご冥福を祈り上げます。



ウォーキング

古代文化の町・竹ノ塚散策

令和4年10月16日(日)午後1時に日暮里駅に有志9名の会員が集合。天候は一時雨も予想されたが、曇り時々晴れのまずは良好なウォーキング日和となった。

今回は日暮里舎人ライナーに乗って、古代文化の香りのする竹ノ塚周辺を散策した。当日世話人の秋田滋さんの案内で、まずは長い緑道でつながった安らぎの見沼代親水公園を通り、伊興氷川神社近くに復元された竪六式住居そして膨大な量の土器や勾玉などの玉類が出土され祭祀の中心地だったと思われる伊興遺跡公園でしばし悠久の古代を偲んだ。それから時代は下がり綱吉の母・桂昌院の墓がある法受寺を見学。八百屋のお玉さんが家光の側室、そして綱吉を生み、まさに“玉の輿”に乗った。そのあと多くの古墳があったが、地域開発で今はただ一つ残っている白旗塚のある白旗塚史跡公園を散策。埴輪のオブジェ、古代文字が書かれた石のオブジェを楽しんだ。



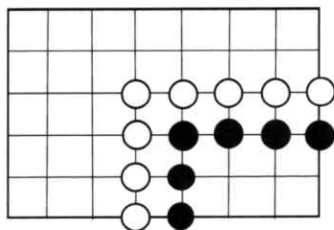
今回も知的好奇心を満たすひと時を過ごし、心地良い汗をかきながら竹ノ塚駅にたどり着いた。ここで一旦解散し、一部は近くの居酒屋で反省会をして帰路に着いた。

(桃井 清治/記)

囲碁・将棋

囲碁部

詰碁問題



隅六目の基本シリーズです。今回はダメ全て詰まっています。白先でどうなりますか？

将棋部

毎月第三土曜日の午後15時に用賀「鈴家」さんにて例会を開催しています。毎回の勝敗をホームページに掲載することに致しましたので、ご覧ください。

初心者、初級者の方にも駒の動かし方から王の囲い方、攻め方などお教えします。

頭の体操・老化防止に是非どうぞ。(林 馨/記)

詰将棋に挑戦!

古典的で有名な詰将棋なので、ご存じの方もおられるかと思えます。

ヒント:ノーヒント(三手詰め)
5 4 3 2 1

	将	王	将	一
				二
		銀		三
			馬	四
				五
				六
				七
				八

持駒 銀

その他の部会

報告事項無し

同好会

温泉・小旅行

「温泉・小旅行同好会」が正式に発足してちょうど1年が経過しました。

この間温泉入湯活動は新宿の「テルマー湯」、川崎の「野天湯本 くりひら 湯快爽快」の2回、「小旅行」は11月に房総半島方面への日帰り旅行を予定しています。(この原稿を執筆している10月中旬の段階では“計画中”。)

実際の活動状況は世田谷稲門会のHP又は「30周年記念誌」をご覧ください。

この間、会員数は発足時点の“9名”から“14名”に増え、更にロコミと会報等への活動報告に影響を受けられてでしょうか、入会を希望される方もおいでになるとお聞きしています。

会員の皆様には改めて「温泉・小旅行同好会」への入会のお誘いをすると同時に、「温泉・温泉地」及び「日帰りで充実感のある旅先」の紹介や推薦或いは「体験談」等の情報をお寄せ頂けると活動の候補地が増えて助かりますので宜しくお願いします。
(斎藤 正憲/記)



歴史

歴史同好会は、毎月第2土曜日を原則として例会を開催しています。

6月のテーマは「蒙古襲来と鎌倉幕府」。日本にとって未曾有の国難に対し、鎌倉幕府はよくこれを防ぎましたが、この戦いが鎌倉幕府の滅亡に繋がります。

7月は「国宝五城」、日本には石垣だけ残ったものまで合わせると3万~4万もの城があります。その中で「国宝」となっているものは、松本城・犬山城・彦根城・姫路城・松江城の五城だけです。

8月は「十字軍」。その目的が「聖地回復」とは言うものの、現代風に言えば「力による現状変更」、ヨーロッパによるアラブ侵略である事に違いありません。

9月は「ウクライナの歴史から見たロシア・ウクライナ戦争」、日本に入ってくる世界の情報は大部分が欧米経由ですが、ネット系の情報収集力を駆使して集めた反欧米系の情報を知ることができました。

10月は「日本の歴史の転換点 大政奉還」。大きなポイントはやはり外国との関係だったようです。幕府側も薩長側も外国の情報を多く得たものが開国を進め、外国に追いつく国力を付けて日本を守ろうとしました。
(林 馨/記)

サロン・せたがや



新型コロナウイルス感染・入院・リハビリ体験記

令和4年1月30日、不覚にも新型コロナウイルス(COVID 19)に感染してしまい救急車で東京医科歯科大学病院に運ばれました。近くの病院への入院を希望しましたが、都内以外の方が入院を希望しておられるのに、この病院に入院出来たのはラッキーと言われました。

肺炎は急激に悪化する場合、呼吸不全の他、肝機能障害、胃腸炎、心筋炎、脳炎を併発します。やっと3月17日に目出度く退院。しかし、46日間ベッドで寝ていたため、筋力低下がひどく、3月17日から6月2日まで、近くの東京三軒茶屋リハビリテーション病院に入院、運動失調、見当識障害の改善のため理化学療法、作業療法、言語療法の治療を受け77日間の療養。合計123日間の闘病生活でした。

その間の費用は東京医科歯科大学で総額2,023,450円、自己負担429,537円、東京三軒茶屋リハビリテーション病院で総額4,263,943円、自己負担757,176円、123日間総額6,287,393円、自己負担1,186,713円でした。たかが、コロナウイルスと油断するものではないと思うのが近頃の心境です。会員の皆様もくれぐれもコロナウイルスにご注意されることを願います。
(萩原 健/記)

会員の広場

さくら句会のこと

家井 雪子

(昭41教育)

蛇穴を出ずれば

監視カメラかな



これは私がさくら句会(さくら会+キヤロット会の稲門句会)に入会してまもなく出会った「上馬の」さん(暮田忠雄、昭35商)の俳句です。粋な俳号と鋭い批評眼、豊かな俳諧味に、一遍にファンになりました。

「蛇穴に入る」は秋の季語。「蛇穴を出づ」という春の季語もあり、どちらも上馬のさんのお気に入りだったようで、その後何回か蛇の秀句を見せていた、いただきました。

月一回の句会は、忌憚のない意見が飛び交う楽しいものでした。会場の桜新町へは歩いて行けるので、遠くへ出かけるのが億劫になってきた私には助かりました。上馬のさんもバス一本で通えるので、ご便利だったようです。ご近

所付合いのような気の置けなさは、全国に張り巡らされた稲門会のネットワークのおかげでした。大先輩も多い中で好きなことを勝手に口にできる気楽さも、俳句という芸芸の特色と同時に、ご近所感のなせる業のように思います。

ある日突然、上馬のさんの俳号が「二丁目」さんに変わりました。横町のご隠居さんのような飄々とした風情と反骨の精神はそのままに、句はますます繊細な詩情を深めていかれました。私自身も俳句の上達はままならないものの、後半生の大きな愉しみを知ることができました。

やがてコロナ禍。句会はメールで行われるようになり、二丁目さんにお会いできなくなつて二年以上になつた先日、突然の訃報が届きました。その後送られてきた当月の投句に、二丁目さんの辞世の句がありました。

蛇穴に入らんとすれば

最終便(二丁目)

俳句の奥深さを教えていただいた二丁目さんに感謝を込めて、私もつたない追悼句を詠ませていただきました。

蛇穴に入りて還らぬ

訣れかな(雪子)

ありがとう「さくら句会」
ありがとう二丁目さん。

『コロナの暗号』

木原 禎子(昭36理工)

今私たちは、コロナ、異常気象、ロシアのウクライナ侵攻による物価高、円安とさまざまな困難な状況に直面している。戦中戦後を体験した者として、日本が少しでも元気になるって欲しいという思いから書きます。

核抑止による平和ではなく、譲る心や「つつしみ」の心で他民族と和していくのでなければ、真の平和は維持できないと述べている。これこそが今般のコロナが暗示するメッセージであり、度重なる異常気象や大災害はもろろん、新たに危惧される地球の危機状況から、私たち人類が読み取るべき重要な教訓だと言う。

彼は歴史を紐解くと、日本人には利他的精神が根づいてると気づかされ、危機に立たされた時こそ、日本人らしさが際立つと述べている。ただここに問題がある。今その謙虚さが、日本人の誇りや自信の無さに現れているようだ。

2019年に日本財団が行なった世界の18歳の意識調査では、「自分を大人だと思ふか」「自分で社会を変えられるか」「将来の夢はあるか」「自国の将来が良くなる」、日本はいずれも最下位。それどころか将来が悪くなると思う割合が上回っていた。別の世論調査では、日本は世界で恵まれた国であるにも拘らず幸福度は世界の90位。ただ「将来平和な国になつて欲しい」が世界一位。

課題は、若者の意識の低さの原因になつている教育のあり方と、私たち大人が生み出した負の遺産の迅速な解決にあると示唆している。今円安で騒いでいるが、日本は1949年から72年まで、1\$360円だった。終戦直後、日本製品は安かろう、悪かろうと言われていたのが、技術者の努力で技術立国にまであつた。食料自給率の低さも深刻で多くを海外に頼っている。昔はあぜ道で栽培し、日本文化の根幹をなす大豆も今は自給率20%。

本来日本人は何かを生かされていくという意識を持っていた。自然界のすべてに神が宿るといふ謙虚な気持ちを持ち、お祭りなども素晴らしい習慣で、神や自然に感謝し、それにより地域の協力、助け合いの精神が育まれた。

江戸時代は、持続可能社会の見本で、下水道は完備され、し尿も農家の有力な肥料として有効活用され、和服なども素材を何度も作り直してリサイクルできる。もう一度若者に誇りと自信とやる気を持つてもらい、自分のためだけでなく、社会の一員として役立つ人間として活躍して欲しいと心から思う。日本は素晴らしい国です。

世田谷稲門会 会員異動状況 令和4年 10月31日現在(正会員 404名、準会員 31名)

個人情報につき不掲載

事務局からのお願い;

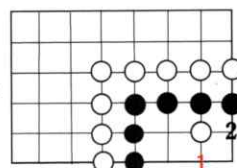
会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話 03-3305-4650
e-mail; shinoshoko@gmail.com

【詰将棋の答】

正解
3二馬 同銀右(左)
4二(2二)銀打ち まで

【詰碁の答】



正解：これで黒は簡単に死にます。ご確認ください。

編集後記

世田谷稲門会会報は、2020年4月24日発行の第73号以降、コロナ禍のため活動が制限され、活動事項報告の掲載もままならず、ページ数を削減したり、編集内容の企画立案に苦慮いたしておりました。その間の会報は皆様からの楽しいエッセイが届けられ、読み応えのあるものとなりました。そして今回の81号では、対面の活動が少しずつ復活し、そのご報告もでき、「対面はやっばり楽しい」という喜びが伝わってくる内容となったと思います。

11月12日(土)の稲門会創立30周年の祝賀会では、萬代校友会代表から、「今年は大学創立140年、大隈重信侯没後100年にあたる年」というお話がありました。会報も4月、7月、12月の年3回発行されますが、数を重ねるだけでなく、内容のあるものをと、編集長が獅子奮迅の働きで模索いたしております。

ぜひ皆様からも、『サロン・セタがや』のコーナーなどにご寄稿いただけたらと思います。

(兼子 信子/記)